



Title	2022年度活動記録
Author(s)	
Citation	大阪大学歴史教育研究会 成果報告書シリーズ. 2023, 20, p. 72-75
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/98844
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2022 年度活動記録

■大阪大学歴史教育研究会・2022 年度例会

- *所属・職名は報告当時のものである。
- *例会は全て対面とオンライン（ZOOM 使用）を併用するハイブリッド形式で行った。
- *各回の主たる講演の要旨は、研究会ホームページ（<https://sites.google.com/site/ourekikyo/>）の「活動記録（2022 年度）」に掲載している。

第 142 回例会（2022 年 4 月 16 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

- 特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第 1 回
秋田茂（大阪大学人文学研究科教授）
「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」
ナディン・ヘー（大阪大学人文学研究科教授）
「トランスインペリアル・ヒストリーの視座から見た日本統治下の台湾」
コメント：磯谷正行（愛知県立岡崎高等学校教諭）
「トランスインペリアル・ヒストリーに期待すること」

第 143 回例会（2022 年 5 月 21 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

- 特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第 2 回
安達宏昭（東北大学大学院文学研究科教授）
「日本植民地研究と「大東亜共栄圏」研究の現状」
コメント：河西晃祐（東北学院大学文学部教授）
「実践トランスインペリアル・ヒストリー：大東亜共栄圏を考える視点」
西村嘉高（青山学院高等部教頭）
「安達宏昭報告に寄せて—歴史教育実践との関係で—」

第 144 回例会（2022 年 6 月 18 日、大阪大学人文学研究科本館 2 階大会議室）

- 特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第 3 回
鈴木英明（国立民族学博物館准教授）
「インド洋西海域の奴隸交易廃絶活動再考—トランスインペリアル・ヒストリーの観点
から—」
コメント：森井一真（大阪大学人文学研究科博士後期課程）
「イギリス帝国における奴隸貿易廃止の受容と抵抗—1790 年代の奴隸貿易廃止法案に
「反対」した人々から—」
野々山新（愛知県立大府高等学校教諭）
「アフリカ史教育実践から見たトランス・インペリアルヒストリーの可能性—世界史 B

から歴史総合、世界史探究への学びの転換を目指して—」

第145回例会（2022年7月16日、大阪大学人文学研究科本館2階大会議室）

特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第4回
平野千果子（武藏大学人文学部教授）

「フランス植民地帝国とカリブ海世界—ディアスボラの視点から—」

コメント：並河葉子（神戸市外国語大学外国語学部教授）

「反奴隸運動のグローバルヒストリー—労働しケアする女性たちに注目して—」

笹川裕史（大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎教諭）

「トゥサン＝ルヴェルチュールとハイチ革命」

第146回例会（2022年10月22日、大阪大学人文学研究科本館2階大会議室）

特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第5回
宇山智彦（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

「ロシアの帝国意識と「反植民地主義」の歴史的位相—世界の階層構造の視点から—」

コメント：左近幸村（九州大学大学院経済学研究院准教授）

「ロシアとウクライナの関係史—拙著『海のロシア史』を中心に—」

吉嶺茂樹（北海道高等学校遠隔授業配信センター教諭）

「歴史総合のなかで「帝国」を描くために一生徒が経験した「帝国」の記憶を北海道で語り継ぐ実践から—」

特別例会（2022年11月13日、オンライン開催）

「日本と世界が出会うまち・堺 2022」研究発表会

第147回例会（2022年12月17日、大阪大学豊中キャンパス全学教育推進機構

管理・講義A棟1階共A102教室）

特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第6回
大学院生グループ報告

磯部宗志（西洋史M1）・大畠直也（西洋史M1）・花田光輝（西洋史M1）・

早川涼介（日本史M1）

「トランスインペリアル・ヒストリーの視座から捉え直すアジア系移民—中・印・日移民の多面的な役割から見る戦間期の時代性—」

足立悠輔（西洋史M1）・井上健太郎（言語文化研究科D2）・河野七海（日本史M1）・

佐藤武（西洋史M1）・田中聰一（日本文学M1）

「トランスインペリアル・ヒストリーからみる東アジア経済成長の再考—歴史教育における戦前と戦後の「接続」を目指して—」

第148回例会（2023年1月28日、大阪大学人文学研究科本館2階大会議室）

江良直紀（大阪府立北摂つばさ高等学校教諭）

「世界遺産と歴史教育・歴史学」

岩崎奈緒子（京都大学総合博物館教授）

「文化財保護法・博物館法の改正をめぐって—教育がコスパで評価される時代の到来—」

第149回例会（2023年3月18日、大阪大学人文学研究科本館2階大会議室）

特集「トランスインペリアル・ヒストリーから考える新たな帝国・植民地史研究」第7回

菅英輝（九州大学名誉教授・大阪大学招聘教授）

「非公式帝国アメリカと冷戦—ホプキンス著『アメリカ帝国』（2018年）に寄せて—」

コメント：上英明（東京大学大学院総合文化研究科准教授）

「キューバにとってのアメリカ「帝国」—トランスインペリアル・ヒストリーの可能性
を探る—」

西裕一郎（大分県立大分豊府高等学校指導教諭）

「『パクス・アメリカーナ』の世界を教材化する試み—高校世界史教員の立場からの
コメントとして—」

■教員組織・学会・自治体と連携した活動

「日本と世界が出会うまち・堺 2022」プロジェクト

堺市博物館と大阪大学歴史教育研究会の共催事業として、堺の国際交流の歴史などにスポットをあてた「日本と世界が出会うまち・堺 2022」プロジェクトについて、今年度も昨年に引き続き、特別例会という形でオンライン開催した。

大阪大学歴史教育研究会 2022 年度世話役・事務局

■代表（共同代表）

秋田 茂 (大阪大学大学院人文学研究科教授)
飯塚 一幸 (大阪大学大学院人文学研究科教授)
堤 一昭 (大阪大学大学院人文学研究科教授)

■高校・中学教員側世話役

大西 信行 (中央大学文学部特任教授)
置村 公男 (六甲中学校・高等学校教諭)
川島 啓一 (同志社高等学校教諭)
澤野 理 (神奈川県立逗子高等学校教諭)
西村 嘉高 (青山学院高等部教頭)
藤田 弘晃 (奈良県立奈良高等学校教諭)
矢景 裕子 (神戸大学附属中等教育学校教諭)
八木 啓俊 (大阪府立淀川清流高校教諭)
矢部 正明 (関西大学中等部・高等部教諭)
吉嶺 茂樹 (北海道高等学校遠隔授業配信センター教諭)

■研究会事務局

猪原 達生 (大阪大学大学院人文学研究科特任研究員／東洋史学)
野口 駿之介 (大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程／西洋史学)
谷垣 美有 (大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程／西洋史学)
北山 航 (大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程／日本史学)